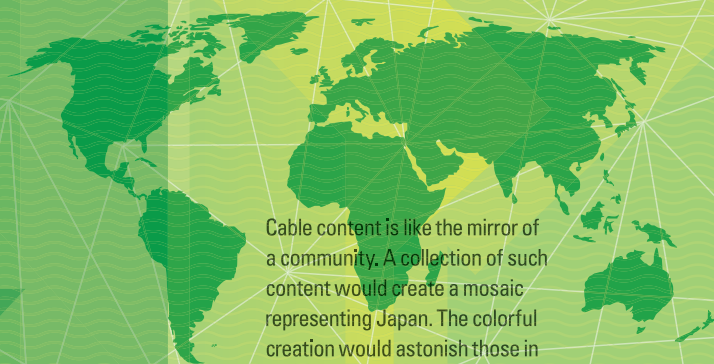


# ケーブル・コンテンツ通信 Cable Contents Press

## Vol.2

- 2 — 初の2日間開催  
第41回「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワード開催
- 4 — 制作者らが多数参加  
番組アワード セミナーレポート
- 6 — ケーブルテレビ業界共通4Kチャンネル  
「ケーブル4K」12月1日開局
- 8 — 「じもテレ動画プレーヤー」サービス提供中  
AJC-CMS/じもテレのご紹介/AJC-CMS 利用料金



Cable content is like the mirror of a community. A collection of such content would create a mosaic representing Japan. The colorful creation would astonish those in Japan and around the world.

# 第41回「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワード開催！



「コンペティション部門」受賞者らによるフォトセッションの様子

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟(東京・中央区、西條温理事長、以下JCTA)は、10月22日・23日にiTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ(東京・世田谷区)にて、第41回「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワードを開催した。部門の見直しや初の2日間開催、セミナーやコンテンツ見本市の実施など、例年以上に見どころの多いイベントとなった。

## 初の2日間開催に エクストラ部門も

「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワード(以下番組アワード)は、JCTAが主催するケーブルテレビ自主制作番組に焦点を当てたアワード。毎年、地域映像や情報文化の発展、地域からの情報発信支援に寄与する作品を全国のケーブルテレビ局から募集し、優れた作品を表彰している。

今回の番組アワードでは、質の高い番組作りでグランプリを目指す「コンペティション部門」のほか、日常的な番組からケーブルテレビならではのアイデアやチャレンジ性を評価する「エクストラ部門」を設けた。「エクストラ部門」では応募者が他局の作品を見て投票を行い、上位作品を表彰する試みも実施された。最終的にはコンペティション部門124作品、エクストラ部門92作品、合計で216作品の応募があった。

番組アワード授賞式は22日に開催され、会場には全国のケーブルテレビ局の番組制作関係者など約350人が詰めかけた。各賞の発表に先立ち西條温・JCTA理事長が挨拶し、「12月1日4Kチャンネル『ケーブル4K』を放送開始するほか、AJC-CMSでは月間約1,600本のコンテンツが相互流通し、地域を越えた情報発信が可能となった。地域コンテンツの海外展開も重要な課題となっている。4Kをはじめ地域コンテンツの充実に業界として取り組む必要性を感じている」と、ケーブル・コンテンツのさらなる強化に向け意欲を示した。

## 伊万里ケーブルテレビジョンが グランプリに輝く

「コンペティション部門」でグランプリ(総務大臣賞)に輝いたのは、伊万里ケーブルテレビジョン(株)の『天の川が見えたら～忘れない 伊万里商業学徒報国隊～』。同社は2010年にもグランプリを獲得しており、5年ぶり2度目の受賞に。制作を担当した取締役 放送部長の大鋸あゆり氏は、涙をこらえながらステージ上で受賞の感想を語っていた。

一方「エクストラ部門」で第1位となったのは、(株)大垣ケーブルテレビの『生放送です！メールください』。同社も2012年にグランプリを獲得しており、エクストラ部門初代第1位の座を得た。番組作りに携わった放送部 係長の吉田広行氏は、受賞の喜びとともに番組に参加してくれた地域住民への感謝の気持ちを述べていた。

開催2日目の23日には、4Kやケーブル・コンテンツ制作に関する多数のセミナーを実施。多くのセミナーが満員となるなど、大盛況となった。またケーブル・コンテンツの紹介・流通・販売を目的とした「コンテンツ見本市」もあわせて開催され、全国のケーブルテレビ局から多数のコンテンツが出演。コンテンツ流通・調達や情報収集・交換などを目的に、ケーブルテレビ業界関係者らが各ブースを熱心に見学していた。

政府の地方創生の取り組みや海外観光客の呼び込みなどで、注目を集めつつある地域の映像コンテンツ。その中核となるケーブル・コンテンツ制作への熱のさらなる高まりを感じられるアワードとなっていた。

## ■ コンペティション部門

### グランプリ・総務大臣賞

伊万里ケーブルテレビジョン(株)

#### 天の川が見えたら

～忘れない 伊万里商業学徒報国隊～



大鋸あゆり 氏  
(写真右)  
伊万里ケーブルテレビジョン(株)  
取締役放送部長

取材中にも取材対象の戦争体験者が亡くなっていく現状をずっと見てきましたので、その方たちの声をより多く、早く拾って、伝えることに最も注力してきました。今年は新たに戦争関連の番組を4本企画しており、うち2本がすでに放送されています。今だからこそ(戦争体験を)話してくれる方も多いですし、そういう人たちの声を今後も届けていきたいと思っています。数年は戦争作品を頑張っていきたいです。

### 準グランプリ

(株)新川インフォメーションセンター

NICE TV 開局15周年記念特別番組

#### 水の恵み 輝くいのち

～魚津の水循環



宮本雅征 氏  
(写真右)  
(株)新川インフォメーション  
センター  
CATV制作グループ 主任

“水”という当たり前にあるものの良さに気づいていただきたい、そして番組を足掛かりに地元の良さに気づいていただき、「住んでいて良かった」「また地元に住みたい」と少しでも思ってもらえれば……という想いで、この番組を制作しました。今後も視聴者に地元への愛着を持っていただけるような番組を作っていきたいと思っています。

### 審査員特別賞

ビーティーヴィーケーブルテレビ(株)

#### 棧橋



日高 淳 氏  
ビーティーヴィーケーブル  
テレビ(株)  
制作部 部長

『バヌアツへ行こう』という番組のスピノフ企画だったのですが、地域の情報を深掘りして行って、気が付いたら地球の反対側の海外まで行って行っていました。今後も地域密着を目指して番組作りを行なっていきたいと考えています。また私たちの番組を見ていただいた方が幸せになるような番組を作っていきたいと思っています。

## ■ エクストラ部門

### 第1位

(株)大垣ケーブルテレビ

#### 生放送です!メールください



吉田広行 氏  
(写真右)  
(株)大垣ケーブルテレビ  
放送部 係長

この番組は、極力時間と手間をかけず行える生放送企画を考える中で、地元のUstream番組を参考に、メールで視聴者とキャッチボールのできる番組を目指しました。実際に番組の企画アイデア募集をしたり、小道具を作ったりしており、これからは視聴者の皆さんと一緒に番組を考えていきたいです。単に出演するだけでなく、視聴者の方々も思わぬ形で参加できるような番組を制作したいと思っています。

### 特別賞

CTBメディア(株)

#### ひるまえとんぼテレビ



真砂聡一郎 氏  
CTBメディア(株)  
制作部 部長

出演者の方々にも楽しんでいただいたおかげで、受賞できたのだと思っています。スタッフはお手伝いの方も入れて3名、カメラは無人のリモコンカメラ3台に固定カメラ3台と、省力化の中でどれだけ多くの人を取り上げられるかに注力しています。毎週木曜日は「大人遊び」をテーマとするなど、大人が本気で遊んで楽しいことを伝えていきたいと思っていますので、私たちも“遊んで”いきたいなと思っています。

### 特別賞

(株)キャッチネットワーク

#### キャッチ旗開幕直前! オールスター名鑑



木村文昭 氏  
(株)キャッチネットワーク  
コンテンツ制作本部  
メディア広報課

弊社では開局から少年軟式野球大会を主催しており、その事前番組である選手紹介番組が賞をいただいたのは、弊社の子どもたちのための取り組みが評価されたのだと思っています。取材の際に、「この大会に選抜で出ることを目指している」という子どもたちの声を聞いていますので、その想いに応えられるよう今後も継続して大会を開催していきたいですし、より良い大会になるよう事前番組等で盛り上げていきたいです。

## 番組制作のヒントや最新4K情報も

# 番組アワードセミナーを 開催

第41回「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワードでは開催2日目(10月23日)を中心に、ケーブル・コンテンツの制作や編成、4K最新事情などに関するセミナーが多数開催。経営層を含め制作担当者ら多くの方が詰めかけた。



当ページに掲載されているパネルディスカッション・セミナーの映像を、AJC-CMSで公開致します。

**公開期間:** 2015年11月30日(月)  
～2016年2月29日(月)

**視聴対象:** 正会員オペレータ、正会員サプライヤー、賛助会員

**注意事項:** 上記の視聴対象以外の公開はご遠慮願います。また、視聴用にダウンロードした場合、視聴後は速やかにデータを消去願います。なお、プレビュー視聴のみのセミナーもございます。その場合は、AJC-CMSに登録されているPCでご視聴ください。

※自主制作チャンネルでの放送は出来ません。

### 贈賞式パネルディスカッション 「経営から見た地域コンテンツ・ コミュニティチャンネル」

登壇者:丸山康照氏(須高ケーブルテレビ(株)代表取締役社長)、松浦隆一氏((株)秋田ケーブルテレビ 代表取締役社長)、高秀憲明氏(イツ・コミュニケーションズ(株) 代表取締役社長)、坂本万明氏((株)倉敷ケーブルテレビ 代表取締役社長)

ケーブル業界の現状や連盟としての取り組みなどを紹介しながら、パネラーが各社の地域コンテンツ・コミュニティチャンネルの位置づけ、町づくりとしての地域コンテンツの在り方についてディスカッションした。



贈賞式パネルディスカッションの様子

### 4Kセミナー① 「WOWOW 連続ドラマW 『海に降る』4K制作の現場から」

登壇者:岡野真紀子氏((株)WOWOW 制作局ドラマ制作部)

2年前、初めて4K(XAVC)でドラマW『チキンレース』を制作し、今年、初めて4KHDRで連続ドラマW『海に降る』を制作したことで見えてきた4Kドラマ制作の魅力、そして今後の課題について講演。4K制作に伴う現場の変化、仕上げ環境の変化、演出の変化、ドラマの捉え方の変化、そして2年前と現在の環境・意識の変化などについてお話いただいた。



岡野真紀子氏  
(WOWOW)

### 4Kセミナー② 「4K制作の現場から～4Kにおける 撮影と編集で現場は何が悩ましいか～」

登壇者:服部洋之氏((株)東北新社 放送本部編成企画事業部 事業部長代行 兼 ファミリー劇場編成部長)

高精細が売り物でスタートした4K制作。スポーツや紀行、音楽ライブなど4Kの特性を生か

した番組は続々と登場。もはや放送業界では4Kは不可逆的なものとして捉えられている。しかし、4K番組はただ綺麗なだけで良いのか?ドキュメンタリーをはじめとした小規模な制作における4Kの悩みや新しい制作技術としての4Kといかに付き合っていたら良いのかを考える内容となっていた。



服部洋之氏  
(東北新社)

### 4Kセミナー③ 「ケーブル4K開始に伴う 4Kコンテンツの状況」

登壇者:橋本幸典氏(日本デジタル配信(株) 取締役専務執行役員 事業戦略企画推進本部長)

2015年12月放送開始に向けて、日本デジタル配信ではケーブル4Kのコンテンツ調達、配信設備を準備中しており、その現状と課題などを紹介した。



橋本幸典氏  
(日本デジタル配信)

### 海外コンテンツ展開 「放送コンテンツの海外展開について」

登壇者:須賀政幸氏(総務省情報流通行政局 情報通信作品振興課 課長補佐)

放送コンテンツの海外展開は、全国各地の魅力を対外的にわかりやすく発信するものであり、地域への観光需要の増加、地域産品の海外販路開拓といった波及効果が期待され、「クール・ジャパン」「ビジット・ジャパン」「地方創生」に貢献している。こうした点を踏まえ、総務省が実施している放送コンテンツの海外展開の取り組みについて紹介された。



須賀政幸氏  
(総務省情報流通行政局)

## 4Kセミナー④

### 「4Kフィルターのコンテンツ化について」

登壇者：有坂和明氏(日本デジタル配信(株)事業戦略企画推進本部 コンテンツ企画推進部 シニアアドバイザー)

「ケーブル4K」を編成する立場から、ケーブルテレビ局の方々に編成の基本及び考え方を伝えるとともに、編成に沿った4Kコンテンツの制作に関するお願いや、質疑応答・意見交換などが行われた。



有坂和明氏  
(日本デジタル配信)

## パネルディスカッション①

### 「応募作品からみる地域からの情報発信」

登壇者：音好宏氏(上智大学 文学部新聞学科 教授)、橋本佳子氏((株)ドキュメンタリージャパン プロデューサー)、藤森研氏(専修大学文学部 人文・ジャーナリズム学科 教授)、日笠昭彦氏(日本テレビ放送網(株) 報道局プロデューサー)

第41回「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワードより、コンペティション部門受賞作品に対する審査員からの講評などが行われた。



「応募作品からみる地域からの情報発信」会場の様子

## パネルディスカッション②

### 「コミチャンにおける番組制作とは」

登壇者：河野尚行氏(元NHK放送総局長)、佐々木嘉雄氏((株)放送ジャーナル社 編集参与)

第41回「日本ケーブルテレビ大賞」番組アワード エキストラ部門のコメンテーターから、各作品の講評が述べられた。



「コミチャンにおける番組制作とは」会場の様子

## コミチャンセミナー①

### 『挑戦するコミチャン』 ～ニュースが地域を変える～

登壇者：高橋孝之氏((株)中海テレビ放送 取締役副会長)

2013年4月より放送を開始した『モーニングスタジオ』、ニュースから特別番組になり現在ではレギュラー番組となった『中海物語』を具体例に挙げ、「報道」と「制作」そして「速報」の重要性と、「ニュースが地域を変える」という視点からケーブルテレビにおけるコミュニティチャンネルの在り方について考える講演となった。



高橋孝之氏  
(中海テレビ放送)

## コミチャンセミナー②

### 「コミチャン編成について」

登壇者：飯泉宗大氏(日本デジタル配信(株) 営業部 マネージャー)、高平太氏((株)ジュピターテレコム 地域メディア本部 本部長)、清水幸太郎氏((株)エヌ・シー・ティ 地域情報部 次長)、鈴木秀幸氏(ひまわりネットワーク(株) メディアサービス部 編成グループ グループ長)

大手通信事業者、ネット事業者等との競争が激化する中、視聴者の多様なニーズへの対応を踏まえたコミチャンの在り方、特に編成について、パネラーがディスカッションした。

※このセミナーの映像はプレビュー視聴のみ可能です。ダウンロードはできません



「コミチャン編成について」の様子

## コミチャンセミナー③

### 「番組流通と共同制作について」

登壇者：矢野昌之氏((株)ケーブルメディア四国 放送部 広告営業課 課長代理)

日本ケーブルテレビ連盟四国支部加盟の14局で運営している番組交流部会では、四国の人を動かすことを目的とした番組を毎月持ち回りで制作し、放送している。また、各局で放送する夏祭り、秋祭りの番組配信や、四国にある野球の独立リーグ中継、高校野球四国大会などのスポーツ中継を共同制作し、四国支部加盟局に配

信している。単局での制作が困難な中継や、四国の有名な祭りを各社が放送することが可能になり、コンテンツ充実につながっていると、四国の番組流通・共同制作について紹介した。



矢野昌之氏  
(ケーブルメディア四国)

## メディアミックス展開

### 「番組『給食だいすき』の メディアミックス展開について」

登壇者：篠田敬子氏(入間ケーブルテレビ(株) 渉外企画課課長)

FMでは教室からの生中継、ケーブルテレビでは15分番組を制作、フリーペーパーではレシピを掲載、さらにSNSでも発信……というメディアミックスで展開している番組『給食だいすき』。9年前にラジオから始まり、段階を経て現在の形となった。そんな番組誕生の経緯と、メディアミックスの事例が紹介された。

## メディアミックス展開

### 「お客様との距離を縮める メディアミックス」

登壇者：中川宏生氏((株)ニューメディア 常務取締役 米沢センター長)

ケーブルテレビ事業者は自ら所有するメディアおよびインフラを効果的に組み合わせることで、競合他社とは違った形のお客様に訴求できる。ニューメディアではお客様と、自社及び自社サービスの接点を増やし距離を縮める取り組みで、お客様の日々の生活に必須の存在となることを目指している。その取り組み事例の紹介などが行われた。



中川宏生氏  
(ニューメディア)

## メディアミックス展開

### 「地域メディアミックス事例紹介」

登壇者：金井美恵氏(イツ・コミュニケーションズ(株) 取締役常務執行役員 ソリューション本部 本部長)

TV、WEB、FMのクロスメディア展開に、「ITSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ」等で開催したリアルイベント等を加えた事例を、BCPの観点も交えて紹介した。

# ケーブルテレビ業界共通4K専門チャンネル「ケーブル4K」12月1日に開局

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟(東京・中央区、西條温理事長、以下JCTA)は、2015年12月1日11時00分に、ケーブルテレビ業界共通の4K専門チャンネル「ケーブル4K」を開局する。ここではそのコンセプトや、コンテンツなどについて紹介する。

## 12月には 44社で放送開始

「ケーブル4K」は、ケーブルテレビ業界初となる、全国統一編成による4Kコミュニティチャンネル。運営は日本デジタル配信(株)(東京・千代田区、河村浩社長、以下JDS)が担当する。配信ネットワークは、JDSおよびジャパンケーブルキャスト(株)(東京・千代田区、大熊茂隆社長)のネットワークを介して各ケーブルテレビ局に配信し、そこから各戸へと提供する形だ。放送方式はRFおよびIPだが、IP方式は2016年2～3月頃より提供開始となる予定となっている。

120社を超えるケーブルテレビ事業者が「ケーブル4K」採用の意向を示しており、開局の12月から提供開始するケーブルテレビの事業者数は44社(11月12日現在)に上った。44社の接続世帯数はJCTA加盟局の総接続世帯数2,600万世帯の約55%にまで到達している。

放送するコンテンツは、全国のケーブルテレビ局が制作する、地域の文化や情報、地域の魅力などをとらえた番組が中心。各局独自の制作番組とあわせ、JCTAとケーブルテレビ局の共同制作による『けーぶるにっぽん 美・JAPAN / 技・JAPAN』も放送。現在企画募集中の『食・JAPAN』ももちろん4K画質で放送する(編成表はチャンネルHP <http://www.cable4k.jp/> で確認できる)。

また番組供給事業者の制作番組も放送。「チャンネル銀河・ファミリー劇場」から提供される『西部警察 全国キャラバン!! ロケ聖地巡礼』や、「ヒストリーチャンネル™」から提供される『麗しき日本の神社仏閣』などを編成する。



「ケーブル4K」で放送される『けーぶるにっぽん 技・JAPAN 仙台筆筒～伝統の三技一体～』(制作:J.COM 仙台メディアセンター)

## 積極的な 4Kコンテンツ制作を

編成は毎日6時～24時の18時間放送で、6時間編成を3回リピートする形。当面は毎月12時間分程度の番組を更新していく予定で、ケーブルテレビ局らに4Kコンテンツの制作・提供を呼びかけている。コンテンツ調達の際にはコンテンツ提供事業者に対して、調達費として一定額が支払われる。また、JCTAは制作支援のためのセミナーも今後開催する予定だ。

ついに産声をあげる「ケーブル4K」。4Kチャンネルとしても、ケーブルテレビ業界共通チャンネルとしても、サービス拡大を目指していく。

## Cable 4K Topics !

### ■「ケーブル4K」webサイトを開設 <http://www.cable4k.jp>

ケーブル4Kのwebサイトを開設しました。サイトでは最新の編成表や、『けーぶるにっぽん 美・JAPAN』『けーぶるにっぽん 技・JAPAN』『西部警察全国キャラバン！！ロケ聖地巡礼』『麗しき日本の神社仏閣』といった放送コンテンツの紹介、採用ケーブルテレビ局などを掲載しています。スマートフォンでの閲覧にも対応しています。ぜひ一度ご覧ください。



### ■「ケーブル4K」コンテンツ募集！

「ケーブル4K」では、ケーブルテレビ局の皆さまなどが制作された4Kコンテンツの調達を行なっています。調達の際には基準にしたがって、一定金額をコンテンツ制作者に購入費としてお支払いしています。

4Kコンテンツの提供・販売希望や、ご相談等ございましたら、下記担当者までご連絡ください。

#### 【お問合せ・応募先】

日本デジタル配信(株) コンテンツ企画推進部  
TEL.03-6757-0201(代表)  
担当:有坂(arisaka@jdserve.co.jp)  
吉田(yoshida@jdserve.co.jp)

### ■12月7日〆切！ 『けーぶるにっぽん 食・JAPAN』番組企画案を募集中！

日本ケーブルテレビ連盟(以下JCTA)では、『けーぶるにっぽん』の最新シリーズとなる第7シリーズの番組企画および制作参加を募集しています。

今回のシリーズタイトルは『けーぶるにっぽん 食・JAPAN』。全国各地の地域ならではの食と、それを支える職人の技術を紹介する番組を12本制作します。

番組尺は30分尺。『美・JAPAN』『技・JAPAN』同様、全12本すべて4K制作とします(4Kカメラ貸出制度も用意しています)。放送開始は2016年4月より、毎月2本ずつリリースしていく予定です。

制作される12本の番組は番組企画事業者とJCTAの共同制作となり、JCTAからは制作補助として事業者に60万円の支援金を提供する予定です。なお、採用に関し

てはJCTAコンテンツ特別委員会で選考し、決定いたします。

応募〆切は2015年12月7日です。地域の自慢の「食」を4K番組として遺し、ケーブル4Kを通じて全国へ発信する絶好の機会です。ぜひ番組企画をご応募ください。

#### 【お問合せ・応募先】

日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ  
担当:榎原・中田・小林  
TEL:03-3566-8200  
Eメール:cable\_nippon@catv.or.jp

## 「じもテレ動画プレイヤー」サービス提供中

「じもテレ動画プレイヤー」は、「じもテレ」サイトにアップされている動画を、各社ケーブルテレビ局のHP等に埋め込むことができるサービスです。正会員オペレータは動画4つまでは無料です。是非ご活用ください。

＜サービスに関するお問合せ先＞

日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ

担当:小林・伊澤

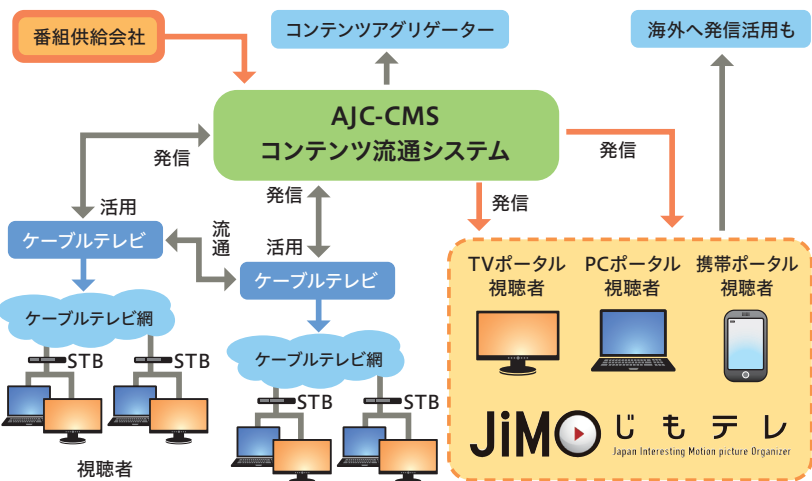
TEL:03-3566-8200 Eメール:jcta\_ajc-cms@catv.or.jp



「じもテレ動画プレイヤー」埋め込み例

## AJC-CMS (All Japan Cable TV-Contents Management System/全国コンテンツ流通システム)

ケーブルテレビ局の地域コンテンツの全国的な流通を目的に、日本ケーブルテレビ連盟が開発・運用しているIP番組素材配信システムです。



## じもテレ <https://jimotv.jp/>

全国のケーブルテレビ局が制作した番組を配信するBtoCケーブル・コンテンツ配信サイトです。マルチデバイスに対応しているほか、AJC-CMSから番組をアップロードすることが可能です。

## JiMO じもテレ

Japan Interesting Motion picture Organizer



## AJC-CMS 利用料金 (2015年11月現在)

正会員オペレータ(※1)(接続世帯数(※2)によるゾーン制)

|         | 月額          | 年額           |
|---------|-------------|--------------|
| 10万世帯以上 | 25,000円(税抜) | 300,000円(税抜) |
| 5万世帯以上  | 17,000円(税抜) | 204,000円(税抜) |
| 5万世帯未満  | 12,000円(税抜) | 144,000円(税抜) |

※1:お申し込みは法人単位とします

※2:接続世帯数は、2014年12月時点でのものとします

非会員オペレータ(※3)(接続世帯数(※4)によるゾーン制)

|         | 月額          | 年額           |
|---------|-------------|--------------|
| 10万世帯以上 | 27,000円(税抜) | 324,000円(税抜) |
| 5万世帯以上  | 19,000円(税抜) | 228,000円(税抜) |
| 5万世帯未満  | 14,000円(税抜) | 168,000円(税抜) |

※3:お申し込みは法人単位とします

※4:接続世帯数は、2014年12月時点でのものとします

## おしらせ受信限定会員

|                    | 月額 | 年額 |
|--------------------|----|----|
| おしらせ受信<br>限定会員(※5) | 無償 | -  |

※5:おしらせ受信限定会員は、連盟の認める一部コンテンツ、およびサプライヤーの提供する番組宣伝コンテンツ等のダウンロードの利用に限定されます

## サプライヤー(※6)

|                           | 月額           | 年額             |
|---------------------------|--------------|----------------|
| 正会員サプライヤー                 | 100,000円(税抜) | 1,200,000円(税抜) |
| 正会員サプライヤー<br>(ライトコース)(※7) | 20,000円(税抜)  | 240,000円(税抜)   |

※6:お申し込みはチャンネル単位とします

※7:ライトコースは月間HD番組10時間までのアップロード制限での利用とします

〈AJC-CMS/じもテレに関する総合お問合せ先〉

日本ケーブルテレビ連盟 コンテンツ・ラボ

Eメール: jcta\_contents-lab@catv.or.jp TEL:03-3566-8200 FAX:03-3566-8201